

# 若狭ネット

第127号 2010年 12月19日

発行：若狭連帯行動ネットワーク

代表連絡先●福井：「止めなくちゃ！」

げんぱつ」連絡会(〒915-0235 越前市不老町6-36 山崎方 TEL0778-42-3630)●大阪：日高原発に

反対する大阪の会(〒583-0007 藤井寺市林5-8-20-401 久保方 TEL/FAX 0729-39-5660)

ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~wakasant/> E-mail : wakasa@gaea.ocn.ne.jp

## もんじゅ：原子炉内の装置落下でもんじゅ試験運転を延期 再処理工場：ガラス固化に失敗し、運転再開のメド立たず

**再処理なくして成り立たない核燃料サイクル開発を中止せよ！**

**もんじゅ廃炉、FBR開発中止！プルサーマル計画中止！**

**原発の運転停止へ闘いを前進させよう！**

国は、高速増殖炉開発をはじめ、原発・核燃料サイクル推進、「地元買収」、原発輸出の推進を原子力推進予算としてあげています。

開発の中心と位置づけている、「もんじゅ」では8月、原子炉容器内で炉内中継装置(重さ3.3トン)が落下しました。装置をつり上げる部分でネジが緩み、機器が不必要に回転し、つり上げるためのつめが装置にかみ合わなくなっていたという設計ミスでした。こんなお粗末さで、本格運転に入る時期を、12年度末から13年度内に延期すると発表しました。延期している中でも1日約5500万円の税金を無駄遣いしているのです。冷却材ナトリウムは空気に触れると激しく燃焼するため空気から隔離して工事をおこなうのは非常に困難さを伴います。今こそ「もんじゅ」を廃炉にすべきです。

青森県六ヶ所再処理工場は、日本の独自開発だと豪語していた「高レベルの核廃棄物を閉

じこめるガラス固化体」が、うまくできず、本格運転のめどは立っていません。再処理から撤退すべきです。

国の原子力利用の基本方針となる「原子力政策大綱」の見直しに原発・核燃料サイクルの政策の転換を求める働きを強めていかねばなりません。「もんじゅ」や使用済み核燃料再処理工場(青森県六ヶ所村)の運転めどが立たない今、絶好のチャンス到来です。

西川福井県知事は国に地域振興策として北陸新幹線の金沢－敦賀間の年内認可を訴え、約束が果たされない場合は、原子力に対する協力を見直す可能性もあるとの「たかり」の姿勢を強めています。

プルサーマルや高速増殖炉実証炉開発も中止に追い込み、使用済み核燃料をこれ以上生み出さないため、原発の運転を即刻停止し、原発新增設を全面的に中止すべき闘いを前進させましょう。ともに、がんばりましょう。

**行動計画： 来年2月9日(水) 午後6時より(予定)**

**美浜2号炉事故から20年 関西電力に脱原発を申し入れよう**

場 所： 関西電力本社 (地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅下車)

---

## **新聞折込基金にご協力をいただき、 ありがとうございました。**

関西電力の美浜1号は、11月28日運転開始から40年を迎え、日本原子力研究開発機構は、もんじゅで再び事故を起こしました。「美浜原発廃炉・増設反対」「もんじゅ廃炉」の内容で11月30日美浜町内への新聞折り込みを行いました。(新聞折り込みのビラを同封しています)

皆さんのカンパは5万1270円になりました。今回3万円を執行しましたので、次回の新聞折り込みもできる金額でした。今後も粘り強く新聞折り込みを続けます。ご協力をよろしくお願いいたします。

---